

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 福岡県大牟田市立大牟田小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )  
所在地 〒836-0851 福岡県大牟田市笹林町1-1-3  
E-mail omutachuo-es@st.city.omuta.fukuoka.jp  
Website http://www.e-net21.city.omuta.fukuoka.jp/omutachuo-es/  
幼児児童生徒数 男子 197名 女子 223名 合計 420名  
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

## 3. 活動内容

### (1) 活動の概要

当校は、ESDの理念に基づいた教育活動を推進している。ESDを教育活動の要として捉え、ESDの実践を通して「豊かな人間性を持ち、主体的に考え行動する子どもの育成」を目標とした。総合的な学習の時間をESDのメインフィールドとして、①地域の伝統文化、文化遺産に係わる学習、②環境に係わる学習、③人権・平和に係わる学習を行った。また、それらの学習を通して④本校のESDの取組や意義を発信する活動を行った。

#### ① 地域の伝統文化、文化遺産に係わる学習

5年生の総合的な学習の時間「見つめよう石炭の町大牟田～羅臼小学校との交流～」では、世界遺産「知床」にある北海道の羅臼小学校との交流を通して、「石炭の町」といわれた大牟田市の名所・建物・歴史や、それらに貢献した人物など自分で決めた課題を調べ、保護者や地域、交流している羅臼小学校に発信した。これらの活動を通して自分たちの地域のよさに気付いたり、郷土を愛する気持ちを持ったりすることができた。

## ② 環境に係わる教育

4年生の総合的な学習の時間「延命公園ウォッチング 春～夏 秋～冬」では、校区にある延命公園の自然に関心を持ち、植物や野鳥、水辺の生き物など、自分で決めた課題について調べ、3年生やお世話になった方々に発信した。これらの活動を通して自分たちの校区や大牟田市のよさを感じ、自分たちの生活の仕方と自然環境のつながりに気付き、環境を守っていくために自分たちができる方法を考えたり、地域を愛する気持ちを持ったりすることができた。

## ③ 人権・平和に係わる学習

6年生の総合的な学習の時間「考えよう！わたしたちの未来 ユニバーサル社会」では、校区内の施設見学や白杖体験・車いす体験などを通してだれもが住みやすいまちづくりについて自分の課題を持ち、自己の生き方について考えを持つことができた。施設の整備だけではなく、人の力や心遣いが大事であることに気付き、住みやすいまちづくりと自分にできる人との接し方や関わり方とのつながりを考えることができた。

## ④ 本校のESDの取組や意義を発信する活動

「ユネスコスクールの日記念全校集会」では校長先生から全校児童に向けて、各学年で行っているESDの取組のよさや毎年1月17日が大牟田市の「ユネスコスクールの日」であることについて確認したり、6年生の代表児童に合わせて全校児童で「ユネスコスクールの日制定宣言文」を読み上げたりした。また、「ESDパネル展示会」では、各学年のESDの取組をパネルにまとめ、地域や保護者に向けて発信した。写真を撮って帰られる方も多く見られ、保護者の関心も高く、取組に感謝の言葉を述べられる保護者も見られた。



① 羅臼小学校との交流



② 延命公園ウォッチング



③ 白杖体験・車いす体験



④ ESD パネル展示会

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材

<ul style="list-style-type: none"><li>○「授業づくりガイドブック」大牟田市教育委員会</li><li>○「授業改善のすすめ 大牟田版アクティブラーニング」大牟田市教育委員会・大牟田市学力向上検証委員会</li><li>○「平成28年度 大牟田ESDコンソーシアム活動報告書」大牟田市教育委員会</li><li>○「持続可能な社会の担い手を育むESDの授業づくり」大牟田市教育委員会</li><li>○「平成24～28年度ユネスコスクールだより集」大牟田市教育委員会大牟田市小・中・特別支援学校ユネスコスクール担当者会</li><li>○「大牟田版SDG's」大牟田市教育委員会</li></ul>
---

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

教育課程全般において、各教科、領域の全体計画にESDを位置づけて、ESDの理念に基づいた教育を推進している。具体的には、ESD教育における、ESDカレンダーや各学年における年間指導計画を作成し、年間指導計画に基づいた指導を行っている。指導方法については、PDCAサイクルをもとに、「平成28年度 大牟田ESDコンソーシアム活動報告書」等の過去の実践事例を参考にしながら指導の工夫改善を図り、次年度の活動につなげられるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

校務分掌において、ユネスコスクール担当者を記載している。大牟田市では、定期的に教育委員会主催の研修会や担当者会が行われ、ESDの取組に対して、情報交換等を行っている。また、大牟田市で作成したESDの実践事例集やリーフレットなどを活用し、組織的活継続的な活動の体制や環境作りに努めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

学校関係者評価委員会における評価内容にESDの取組を位置づけている。評価委員の方々からは、ESDの取組について、高い評価をいただき、さらに活動の様子を発信してほしいという意見をいただいている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

ESDの活動を、情報メディア(インターネット、マスコミ等)を活用して、各学年の年間指導計画に基づいた活動を、定期的に発信している。発信することで、保護者や地域の方からESDの取組に対する理解が深まり、保護者や地域の方々もボランティア等で積極的に教育活動に参加・協力していただけるようになった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

大牟田中央校区まちづくり協議会に協力を仰ぎ、地域のロータリーの花壇に大牟田市制100周年を記念して花を植えた。子どもたちが花の色や植える模様をデザインし、保護者にも呼びかけて一緒に花を植えることができた。以後、花に水をやったり、草を取ったりしに来る子どもの姿が見られるようになり、地域に愛着を持ち、地域のために行動することができるようになってきている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

本市には、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」があり、世界遺産のつながりで、世界自然文化遺産がある北海道羅臼町立羅臼小学校と、学校間交流を図っている。児童は、それぞれの町の紹介や自然や気候の違いなど、手紙や模造紙に書いた絵図や写真を交換して、互いの学校や地域のよさをそれぞれの学校で紹介し合っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

地域の活動に参加したり、地域の人々の思いや願いに触れたりする活動を通して、自分たちの活動の価値や、対象と自分の変化を実感し、課題を見つける的確な視点や積極性等にのびが見られた。また、探究的な学習を展開する学習形態が様々な教科での主体的な学びに広がりが見られた。さらに、授業で学習したことを自分の生活や地域に生かしていきたいと考える子どもが増加し、郷土を愛する心や郷土を誇りに思う心も育っている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

ESDの理念に基づいた教育活動を推進する。学習指導の充実に向け、主体的、協働的な学びの充実を図りながら言語活動を工夫し、思考力・判断力・表現力の向上を図る。授業では体験活動を重視した授業実践を行い、学び方を身につけるとともに、一人一人の願いや個性を大切に、児童のよさや可能性を育む。持続可能な社会の担い手を育むESDのメインフィールドとして、総合的な学習の時間に探究的な学習過程を通して課題を解決し行動する活動の充実を図る。

【各学年における総合的な学習の時間の主な活動】

第3学年「広げようふれあいの心」（福祉）「安全マップづくり」（地域）

第4学年「延命公園ウォッチング」（環境）「二分の一成人式」（自分自身）

第5学年「見つめよう！石炭の町大牟田」（地域）

第6学年「ユニバーサル社会」（福祉）「平和な未来」（国際理解）

「世界文化遺産（近代化産業遺産）」（地域）